



山田美津代 議員

町営住宅の施設充実は 町の責務

町の責務

問 憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」の規定を受け住宅に困窮する町民の為に、老朽化した住宅を建て替えるか他に建てるなどしないと耐震性もなく危険である。残す施設は溝などを直して欲しいという要求もあるのでアンケートなどを取って住民の意向に沿った対策を立てて欲しい。

平岡町長 平成24年度予算の主要事業として「広陵町営住宅長寿命化計画策定業務委託書」として国の補助を受けるため申請中で許可があり次第着手し、既存4団地のあり方や建て替え等も含め居住性の向上の方針を定める。

介護保険の改悪で 利用者負担増に

利用者負担増に

問 生活援助の時間区分が60分から45分に短くなり、吸たんなどの医療行為の一部を介護職もできる道が通

ってしまった。ヘルパーさんは家事代行サービスではなく、利用者さんと顔を見て話をし、状態の変化を読み取る重要な役割が果たせず、充分な会話さえできなくなった。町としてどのようにカバーしていくのか。

平岡町長 今回の制度改正は高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように行われたものと考えております。現場から特に支障が出ているという声は聞いています。情報収集に努めてまいります。

中学校給食実施検討の 進め方は？

進め方は？

問 2つの委員会はそれぞれデリバリー方式の選択制を視察研修に行かれています。保護者の願いは今のスクールランチを拡大したものではない。温かい物は温かく、地産地消の野菜のいっぱい入った汁物などの給食を願っています。是非やるなら東京都足立区のように日本一の給食を目指して。

平岡町長 本町の小学校で自校方式を実施しているので、他の方式の視察をした。これからも色々な方式について比較検討して意見をまとめ議会にお諮りします。



奥本隆一 議員

広陵町内小・中学校における 「いじめ」の実態について

問 大津市立中学校2年の男子生徒の自殺問題をきっかけに、いじめをどうやって防ぐかが大きな課題となっている。いじめはどの子にも、どの学校でも起こり得るもので、なくならないとも言われているが、長年教育現場に携わって来られた教育長の見解と、本町におけるいじめの実態について、伺いたい。

安田教育町 現在、本町の小・中学校において確認されている「いじめ」はありません。いじめはあってはならないものです。この9月中旬に、各学校において、奈良県教育委員会が統一的に作成した「いじめに関するアンケート調査」を実施しますので、十分な分析を行い、心配される芽があれば、小さなうちに摘むことができるよう、努めてまいります。

中学校給食の 早期実現について

早期実現について

問 6月議会の一般質問において理事者側は、広陵町にふさわしい中学校給食に向け、あらゆる面から検討して早期に方針を示し、教育委員会との調整を図って参りたいと答弁された。

その後の進捗状況を伺いたい。

理事者 今後も、「食生活、食育を考える会議」で幅広く議論いただくため、先進地の情報を集め、「食育」という観点も踏まえて中学校給食の議論をいただくこととしています。また、「中学校給食懇話会」委員の皆様にも、更にいろいろな方式により効果をあげているところを数力所視察いただき意見をまとめ、最善の案を議会にお諮りいたします。

広陵町地域自殺予防対策 推進協議会の設立について

問 5月30日に各種団体及び関係機関出席のもと、当該推進協議会設立に向けた会議が開催された。その後の動向について伺いたい

平岡町長 10月には「広陵町地域自殺予防対策推進協議会」を開催し、自殺予防の啓発活動や講演会の開催を図り、広陵町全体で、自殺に陥ることのない、明るい体制づくりをめざしたいと考えております。